

# 日本医史学雑誌 第60巻 第4号

## 目 次

### 原 著

- 国立国会図書館所蔵『新刊黄帝明堂灸経』の書入れについて…………… 天野 陽介 389

### 研究ノート

- 医療宣教師“John C. Berry”がめざした医学校設立運動について …… 布施田哲也 399

### ひろば

- 加治時次郎について…………… 多賀須幸男 417  
大阪府医師会が開催してきた「なにわ医学史蹟めぐり」…………… 竹中 裕昭 421

### 資 料

- 池田文書の研究 (50) …… 池田文書研究会 425

### 追 悼

- 長門谷洋治先生のご逝去を悼む…………… 小曾戸 洋 435  
巨星また落ち関西の医史学は暗夜行路に…………… 田中 祐尾 436

### 記 事

- 例会記録 …… 439

#### 例会抄録

- ゼンネルトと臨床医学の歴史…………… 坂井 建雄 439  
医学教育カリキュラムにみる“ドイツ医学”“アメリカ医学”の変容  
——近代日本医学の通奏（執拗）低音—— …… 逢見 憲一 441

### 書 評

アン・ジャネッタ著，廣川和花／木曾明子訳

- 『種痘伝来——日本の〈開国〉と知の国際ネットワーク——』…………… 渡部 幹夫 442  
深瀬泰旦著『伊東玄朴とお玉ヶ池種痘所』…………… 青木 歳幸 443  
鈴木則子編『歴史における周縁と共生——女性・穢れ・衛生——』…………… 三崎 裕子 445  
桐野高明著『医療の選択』…………… 坂井 建雄 446

### 書籍紹介

- 八木聖弥著『近代京都の施薬院』…………… 渡部 幹夫 448  
尾脇秀和著『近世京都近郊の村と百姓』…………… 永島 剛 449  
ジョエル・F・ハリントン著，日暮雅通訳  
『死刑執行人 残された日記と，その真相』…………… 坂井 建雄 449

浦山きか著『中國醫書の文獻學的研究』……………	坂出 祥伸	450
投稿規定 ……………		452
編集後記 ……………		454
日本医史学雑誌 第60巻 総目次 ……………		455
日本医史学会会報 ……………		463

### 《本号の表紙絵》

#### 重要文化財に指定された曲直瀬道三の『啓迪集』

曲直瀬道三（1507～1594）は安土桃山時代に活躍した医家。京都柳原に生まれ、名は正盛また正慶、字は一溪、号は雖知苦齋・翠竹齋・壺静翁など、道三はその通称。幼くして僧籍に入り、京都五山の相国寺で学び、のち関東足利学校に入り漢学を修めた。医学を田代三喜に学び、帰京の後は啓迪院を創設して多くの門人を育成。時の有力者や天皇家の信任を得、その医療を担当した。道三は当時最新の明刊医書を積極的に導入し、それらを巧みに整理して曲直瀬流またはのちに後世方派と称される医学の基盤を確立した。その功績から日本医学中興の祖と称されている。

『啓迪集』は数ある道三の著作の中でも代表的な医書。天正2年（1574）自序、同年の策彦周良題辞があり、また同年には正親町天皇の勅覧に供されている。『医学正伝』『玉機微義』『医林集要』『丹溪心法類集』『恵濟方』『医方選要』などの当時新渡来の明版医書を駆使し、それらを道三の考えに基づき整理して編纂された書。

平成26年、国の重要文化財に武田科学振興財団杏雨書屋所蔵の『啓迪集』2点が新指定された。従来、日本人が編纂した医書としては平安時代書写の『医心方』が国宝として唯一であったが、中世から近世の医学書が重要文化財に指定されたのは今回が初めてとなる。

表紙に掲示した写真は、『啓迪集』曲直瀬道三自序の首、および巻一首。ともに武田科学振興財団杏雨書屋所蔵（新杏1416）。

（天野 陽介）